

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 1	b		11601	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	1				

授業の到達目標

将来、保育士を目指す学生に必要とされる語彙と知識を学習する。保育の現場で役立つ表現と語彙に取り組みながら、読む、書く、話す、聞く、の4技能の実用能力の向上も図る。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。

授業の概要

テキストに沿って、様々なシーンを一回1ユニットづつ授業を進める。毎回キーワードの小テストを実施し、確実に語彙を増やしていく。

授業計画

1. Pre-unit Please Speak More Slowly
2. UNIT 1 Hi, I'm Yuri Tanaka
3. UNIT 2 Where Is the Multi-purpose Room ?
4. UNIT 3 Good Morning, How Are You Today ?
5. UNIT 4 What Color Do You Like ?
6. UNIT 5 There's a Ladybug on the Leaf
7. UNIT 6 It's Time to Play Outside
8. UNIT 7 She Is Allergic to Eggs
9. UNIT 8 You Should Go to the Bathroom
10. UNIT 9 We Made Masks Today
11. UNIT 10 If It Rains, What Happens ?
12. UNIT 11 What Shall We Do Today ?
13. UNIT 12 I Feel Feverish
14. UNIT 13 This Is Yuri from Cosmos Day Care Center
15. UNIT 14 Thank You Very Much for Everything & 試験

授業の方法

テキストに沿って毎回1ユニットづつ進めていく。

準備学修

必ず指定された個所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

Happy English for Childcare 土屋麻衣子著 金星堂

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 2	a		11605	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
入江 和子	選択	1				

授業の到達目標

保育や幼児教育の現場でよく使われる英語表現・語彙を習得するとともに、4技能(聞く、話す、読む、書く)を効果的に学習し、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。このクラスでは、KAISEI I パーソナリティのIn(国際性)を養い、K(思いやり)を考える。

授業の概要

Children's Gardenという国際的な保育園を舞台に、一人の学生が保育の実習を通して成長していく体験を読み進める。さまざまなタスクを通して基礎的な文法や語法を復習しながら関連語句や表現を習得し、保育の現場で欠かせない日常の出来事や実習の心得、実習中のエピソードなど、平易な英語で書かれた英文のリスニングやリーディング、会話の内容を理解する。また手遊び唄やなぞなぞ、子守唄、詩歌を楽しみながら英語の発音、イントネーション、リズムの練習を行う。

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 1 Children's Garden
3. Chapter 2 The First Day of the Internship
4. Chapter 3 Out We Go!
5. Chapter 4 Splish, Splash
6. Chapter 5 Pancake Day
7. Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories
8. Review, Mid Term
9. Chapter 7 Activities with Watermelons
10. Chapter 8 Happy Birthday!
11. Chapter 9 Children at Play
12. Chapter 10 Baby News
13. Chapter 11 The Tooth Fairy
14. Chapter 12 The Green-Eyed Witch
15. Review, Final Exam

授業の方法

テキストに沿って進み、発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%
グループ/個人発表や中間試験は講義の中でフィードバックを行う。

欠席について

欠席1回につき、平常点から2点減点する。その他は学内の規定に準じる。

テキスト

Naoko Akamatsu, Children's Garden (Seibido)

参考図書

授業中、必要に応じて指示する。

留意事項

毎回小テストを行い、その結果は平常点に組み入れる。英語辞書必携

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光文化地理論			13838	I	春	30
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

海外旅行地理の基礎と海外の国々の観光と文化に関する知識を学び、このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とIn(国際性)を養う。

授業の概要

海外の国々を、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、太平洋の島、中東、アフリカ等に分けて、世界の国、都市、地域、島、観光ポイントなどの必修知識を学習する。また同時に地図、写真、動画などのビジュアル資料から現地情報を学習する。

授業計画

- 1.「世界の地勢」1.大陸と太平洋 2.各地域の地勢
- 2.「アジア」韓国 台湾 中国
- 3.「アジア」香港 マカオ フィリピン
- 4.「アジア」ベトナム カンボジア マレーシア
- 5.「アジア」シンガポール インドネシア タイ インド ネパール
- 6.「ヨーロッパ」イギリス オランダ ベルギー
- 7.「ヨーロッパ」北欧4国 ドイツ
- 8.「ヨーロッパ」スイス オーストリア フランス
- 9.「ヨーロッパ」イタリア スペイン ポルトガル ギリシャ
- 10.「ヨーロッパ」チェコ ハンガリー ポーランド ロシア連邦
- 11.「南北アメリカ」アメリカ ハワイ
- 12.「南北アメリカ」カナダ メキシコ キューバ バハマ ベルギー ブラジル アルゼンチン
- 13.「オセアニア 太平洋の島」オーストラリア ニューゼaland グアム サイパン 南太平洋の島々
- 14.「中東 アフリカ」トルコ イスラエル エジプト ケニア タンザニア
- 15.「総括」と試験

授業の方法

学習内容とリンクして、関連サイト(地図、写真、動画)などのビジュアル資料を通して現地情報を学習する。

準備学修

事前に指示された箇所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

『すぐに役立つ海外旅行地理ベーシック400』JTB総合研究所

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
手話コミュニケーション I			13428	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
若生 茂嗣/大川 能子	選択	1				

授業の到達目標

- ・外見から分かりにくい聴覚障害者の暮らし、歴史などを学ぶ事によって同じ社会に生きる事を学ぶ。
 - ・聞こえないという事を理解し、接し方やコミュニケーション方法を習得する。
 - ・手話で自己紹介が出来るようにする。
 - ・簡単な会話が出来るようにする。
- このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)を養う。

授業の概要

- ・音声言語と視覚言語の違いを理解する。
- ・手話を言語とする聴覚障害者の歴史・文化などの問題を学ぶ。
- ・聴覚障害者の暮らしを知り、情報バリアフリーについて考える。
- ・聴覚障害者の聞こえのしくみと制度を学ぶ。
- ・手話で自己紹介する。
- ・基本的な会話手話を習得する。
- ・レクリエーション

授業計画

- 1.オリエンテーション「聞こえないこととは」「コミュニケーションとは」/手話表現/指文字
- 2.実技(伝え合ってみよう)
- 3.DVD映画「ゆずり葉」鑑賞
- 4.実技(名前)
- 5.聴覚障害者の課題1
- 6.実技(趣味)
- 7.実技(仕事)
- 8.聴覚障害者の課題2
- 9.実技(家族)
- 10.実技(地図1)
- 11.聴覚障害者の課題3
- 12.実技(地図2)
- 13.実技(自己紹介しましょう)
- 14.実技試験
- 15.まとめ

授業の方法

DVDを使って進める。
視覚的ゲーム
手話実技・講義

準備学修

単語学習

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

校規に従う。

テキスト

手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう(全国手話研修センター)

参考図書

日本語・手話辞典

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ハワイ文化研究			13965	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

ハワイの文化を研究する上で、文化を育んだハワイの歴史とその背景を学び、文化が伝わるプロセスと様々なハワイ特有の文化を学び理解をより深める。またハワイの精神である「アロハスピリット」を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

授業のテーマに関連した講義の他に、ビジュアルやビデオなどを用いてハワイ文化を視覚的に学習する。また小テストや問題集などを取り入れて、ポイントとなる箇所を復習する。

授業計画

1. ハワイの歴史(1) ポリネシア文化圏とハワイ諸島の誕生
2. ハワイの歴史(2) ハワイの信仰と神話
3. ハワイの歴史(3) ハワイ王国の歴史
4. ハワイの歴史(4) ハワイのフラの歴史 古典フラと現代フラ
5. ハワイの歴史(5) 日本人移民の歴史
6. ハワイの歴史(6) 戦時下の日系人
7. ハワイの歴史(7) 戦後のハワイと観光王国ハワイ
8. ハワイの言語(1) ハワイ語の基礎知識
9. ハワイの言語(2) ハワイ語の会話
10. ハワイの言語(3) ハワイアンソングに使われる単語
11. ハワイの文化(1) ハワイの食文化と暮らしの習慣
12. ハワイの文化(2) ハワイの伝統工芸
13. ハワイの文化(3) ハワイのミュージックとフェスティバル
14. ハワイの文化(4) ハワイの伝統文化継承と自然保護
15. 総括 & 試験

授業の方法

講義とビジュアルプレゼンテーションや小テストを中心とする。

準備学修

事前に指示されたテーマについて、予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光ビジネス実務論			13434	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

観光ビジネスの最前線を体系的に学び、観光産業の基礎を学ぶ。2018年に3,000万人を超えた訪日外国人観光旅行(インバウンド)ビジネスや2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪万博などのメガイイベントでの観光業の実務について理解することを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

観光ビジネスの変遷について解説し、最前線の観光ビジネスについて事例を取り上げて理解を深める。特に観光ビジネスで注目分野であるインバウンドビジネス（訪日外国人旅行）について、地域との連携や課題について学ぶ。また、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック、ワールドマスターズゲームなどスポーツイベンにおけるMICEビジネスについて観光産業が携わる実務について解説し、グループワークを通して理解を深める。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 観光ビジネスの変遷について(マストツーリズムからの脱却)
3. 旅行業のビジネスモデルと販売戦略
4. 国内旅行
5. 海外旅行
6. インバウンドビジネス①
7. インバウンドビジネス②
8. インバウンドビジネス③
9. MICEビジネス①
10. MICEビジネス②
11. スポーツツーリズム①
12. スポーツツーリズム②
13. 地域創生と観光ビジネス①
14. 地域創生と観光ビジネス②
15. まとめと試験

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

準備学修

WEBで参照すること。

課題・評価方法

課題はレポートの提出(全2回)を求め、講義の中でフィードバックを行う。評価は平常点50%、定期試験50%

欠席について

学則に従う。

テキスト

なし。随時プリントを配布する。

参考図書

『世界一訪れたい日本のつくりかた』デービッド・アトキンソン著
東洋経済新報社

留意事項

観光ビジネス実務士の認定資格を取得するための必修科目の一つである。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認すること。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ツーリズム実務特論			13450	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	選択	1	旅行会社勤務			

授業の到達目標

観光業界は大きな転換期を迎えており、新しいビジネスモデルが日々創出されている。また大型イベント（東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博など）を控えて、観光産業は大きなビジネスチャンスが到来している。各分野の第一線で活躍しているビジネスパーソンの講師から事業現場の話聞き、課題を発見し、解決策を見出すことを目標とする。このクラスはKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際）を養う。

授業の概要

本講義は、観光分野のプロフェッショナルの外部講師による講演を中心にを行う。各分野で活躍する講師には旅行、ホテル、航空会社、自治体などから招き、現場の最前線での仕事内容や課題などについて学ぶ。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 講義①
3. 講義②
4. 講義③
5. 講義④
6. 講義⑤
7. 講義⑥
8. まとめと試験

授業の方法

外部講師による講義を中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

課題はレポートの提出を求める。
評価は平常点70％・定期試験30％

欠席について

学則の通り。

テキスト

なし。随時プリントを配布する。

参考図書

必要に応じて指示する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Business English			13935	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を学ぶ。CDを聴きネイティブスピーカーの英語に慣れるようにする。ビジネスで実際に使われる慣用的な表現を学ぶ。TOEIC受検対策を兼ねている。また就活の社会常識として、実社会の現状について具体的に解説する。

授業の概要

仕事の仕組みや、標準的なビジネス・コミュニケーションを学ぶ。Fax,e-mail,ビジネスレター、封筒書き、ファイリング、などのオフィスワークの常識的な事務についても学ぶ。

授業計画

1. 講義概要、教科書、評価方法、シラバス（講義計画）
2. Unit 1. Job Hunting(1), Writing a resume
3. Unit 2. Job Hunting(2), Writing an application letter
4. Unit 3. Job Hunting(3), Arranging an interview
5. Unit 4. Job Hunting(4), A job interview
6. Unit 5. Job offer
7. Unit 6. The first day at work
8. Unit 7. Preparing to work
9. Unit 8. Telephoning (1) Answering
10. Unit 9. Telephoning (2) Taking a message
11. Unit 10. Telephoning (3) Making an appointment
12. Unit 11. Visiting a client
13. Unit 12. Receiving a visitor(1) Preparation
14. Unit 13. Receiving a visitor(2) Meeting at Narita Airport
15. 総括 & 試験

授業の方法

シラバス通りに進むので予習、復習を励行すること。

準備学修

予習、復習の励行

課題・評価方法

平常点50％、定期試験50％

欠席について

教室での学習に50％の評価をしているので欠席は減点の対象になる。

テキスト

[Business Talkやさしいオフィス英語] 城由紀子、島田拓司、Edward J. Schaefer著、成美社

参考図書

[国際秘書英語] 亀山和夫、成美社

[国際ビジネスコミュニケーション入門] 亀山和夫、八尾 晃共著、成美堂

留意事項

毎回予習、復習を励行すること。単語テストを随時行うので普段から正確に単語を書けるようにしておくこと。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
WEBトラベルプレゼンテーション			13839	Ⅲ	秋	30
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

国内外のトラベルやサービス業関連のWEBページの分析を通して、WEBプレゼンテーションの役割とポイントを学習し、基本条件や専門知識を習得する。また実習では理想的なWEBプレゼンテーションと役に立つプレゼンテーションのテクニックを養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

授業の概要

WEBプレゼンテーションに必要な基本条件と専門知識を学び、実習でテーマに基づいた企画書、日程表、パンフレットなどの作成作業や発表等のプレゼンテーションを通して、効果的な作成方法や発表のテクニックを学ぶ。

授業計画

1. WEBトラベル・プレゼンテーション概要(テーマの説明と内容の紹介)
2. トラベルやサービス業関連のWEBページの分析
3. WEBプレゼンテーションの基本条件(テーマ・イメージ・キーワード)
4. WEBプレゼンテーションの基本条件(ページレイアウトとデザイン制作フロー)
5. プレゼン資料の作成方法と発表のポイント
6. WEBプレゼンテーション実習(1)
7. WEBプレゼンテーション実習(2)
8. WEBプレゼンテーション実習(3)
9. WEBプレゼンテーション実習(4)
10. WEBプレゼンテーション実習(5)
11. WEBプレゼンテーション実習(6)
12. WEBプレゼンテーション実習(7)
13. WEBプレゼンテーション実習(8)
14. WEBプレゼンテーション実習(9)
15. 総括&試験

授業の方法

講義と小テスト、プレゼンテーションの資料作成と発表等の実習を中心とする。

準備学修

事前に指示された箇所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ビジネス中国語			13832	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
王 嫣	選択	2				

授業の到達目標

中国語の発音、基礎単語と基礎文法を学び、練習問題を通して、中国語の基本表現を身につける。中国人の生活習慣を紹介し、中国文化への理解を広げる。自己紹介が流暢にできるように繰り返し練習する。中国語会話を楽しく勉強して、コミュニケーション能力を養う。この授業では、KAISEIパーソナリティのIn(国際性)とA(自律)を身につける。

授業の概要

中国語学習の中に一番大事な部分は発音である、正確な発音を覚えるために、発音練習以外に聞くの練習もたくさんする。中国語の基礎単語と基礎文法をいろんな形で練習して覚える。異文化を理解するために、中国の文学作品及び唐詩を紹介する。中国の歌も一曲歌えるように挑戦する。中国語検定試験問題の指導を行う。

授業計画

1. 第1課、どうぞよろしく
※否定を表す「(私は)××ではありません」
2. 第2課、到着ロビーで
※形容詞の使い方「(彼は)仕事が忙しいです」
3. 第3課、明日のスケジュール
※時を表すことばの位置「(彼は)明日日本にきます」
4. 第4課、喫茶店で
※動詞「喜欢」について「(××)をするのが好きです」
5. 第5課、コンビニで買い物
※人民元の教え方「(お水は)1本1.50円です」
6. 第6課、電子辞書がほしい
※疑問文について「(パソコンは)高いですか」
7. 第7課、京劇を見る
※完了を表わす「了」について「(××)をしました」
8. 第8課、ファーストフード店で昼食
※変化を表す「了」について「(昼)になりました」
9. 第8課、ファーストフード店で昼食
※「有」と「在」について「(近くに)ファーストフード店があります」
10. 第9課、カラオケ店で
※「できる」についての表現「(私は)車を運転することができます」
11. 第9課、カラオケ店で

※「給」について「(私は)友達に手紙を書きます」

12. 第10課、万里の長城に登る
※時刻の言い方「(私は)明日の午後3時に出発します」
13. 第10課、万里の長城に登る
※動作の回数を表す言い方「(彼女は)日本に2回来たことがあります」
14. ※自己紹介の言い方
※中国語検定試験についての指導
15. ※授業のまとめ・テスト

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。毎回「発音の指導」、「語彙、文法と文型の説明」と会話練習を行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

1. 課題：小テストを3回実施する。講義の中でフィードバックを行う。
2. 評価方法：平常点50%、定期試験50%

欠席について

大学の規定に従う。

テキスト

「1冊めの中国語(購読クラス)」 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社